

# 事務事業チェックシート

評価年度	H24	H25	H26	対象外
	○			

事務事業No **370** 事業名 **精神保健関係事業（精神保健福祉相談業務及び啓発活動）**

**[事業基本情報]**

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務		法定受託事務	○
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		衛生費	
	項		保健衛生費	
	目		保健所費	
	大事業		保健所事業	
	事項		精神保健関係事業	

分野別目標	2	個人を尊重し、人々がともに助け合う優しいまち
政策	1	地域福祉と健康づくりの推進
施策	5	保健医療対策の推進
取組	3	こころの健康づくりの推進

事業種別	継続	主な事務事業	○
事業期間	永年	～	
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	保健対策課	坂東貞次	433-226
関連課			

**「3つの磨き」との関連性**

「市民力を磨く」		「基盤力を磨く」		「観光力を磨く」		該当せず
コミュニティーの充実		メリハリある都市づくりの充実		史跡和歌山城の充実		
市民の健康環境の充実	○	道路・公共交通網の充実		海を生かした観光シフトの充実		
総合的な子育て環境の充実		総合防災体制の充実		美味しい和歌山市イメージの充実		
その他		その他		その他		

**1 事業概要及び実施内容**

事業目的（「誰・何」をどういう状態にする）ための事業か	事業内容				
事業概要	精神障害者や家族への個別援助と集団援助、社会啓発、各種福祉サービスの申請や諸届けの進達事務をすることにより精神障害者福祉の向上を図る。 1. 専門医師による精神保健福祉相談、精神保健福祉相談員や保健師による随時相談業務。 2. 精神保健福祉相談員や保健師による訪問や受診援助業務。 3. 精神障害者社会復帰相談指導事業（デイケア）。 4. 家族のエンパワメントを図るための「精神保健福祉家族教室」事業。 5. 精神障害者保健福祉手帳や自立支援医療（精神通院）の申請等の県への進達業務。 6. 障害福祉サービス等の認定調査業務。 7. 障害児者外出支援事業。				
	実施内容	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
	精神障害の早期発見を目的とした相談業務をおこなった。所内での社会復帰援助、危機対応の充実を図るための相談を行った。メンタルヘルスに対する正しい理解と関心を深めることで、市民自ら精神的健康の保持・増進に努めるとともに精神障害者に対する偏見を無くすことを目指した講演を開催した。	精神障害の早期発見を目的とした相談業務をおこなった。所内での社会復帰援助、危機対応の充実を図るための相談を行った。メンタルヘルスに対する正しい理解と関心を深めることで、市民自ら精神的健康の保持・増進に努めるとともに精神障害者に対する偏見を無くすことを目指した講演を開催した。	精神障害の早期発見を目的とした相談業務をおこなった。所内での社会復帰援助、危機対応の充実を図るための相談を行った。メンタルヘルスに対する正しい理解と関心を深めることで、市民自ら精神的健康の保持・増進に努めるとともに精神障害者に対する偏見を無くすことを目指した講演を開催した。		

**2 事業コスト**

	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算	計画	決算	計画	決算
事業費	24,793	18,674	26,920	21,158	25,003	20,263	22,889		22,889	
伸び率 (%)	-	-	8.6%		-7.1%		-8.5%		0.0%	
人件費	常勤職員	40,412	44,073	40,412	41,057	41,057	41,313	41,313	41,313	41,313
	非常勤職員	4,608	3,188	4,608	5,449	5,449	5,772	5,772	5,772	5,772
小計	45,020	37,983	45,020	46,506	46,506	47,085	47,085	47,085	47,085	47,085
国庫支出金										
県支出金	5,704	3,164	5,074	3,144	4,310	3,438	4,310		4,310	
市債										
その他	1,563	433	1,563	1,305	1,601	1,150	1,434		1,434	
一般財源(税等)	17,526	15,077	20,283	16,757	19,092	15,675	17,145		17,145	
所要人数	常勤職員	5.27	5.75	5.27	5.44	5.44	5.47	5.47	5.47	5.47
	非常勤職員	2.3	1.55	2.3	2.16	2.16	2.54	2.54	2.54	2.54

**3 目標及び実績**

指標名及び達成状況					平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
活動指標	精神障害者社会復帰指導事業開催回数					年度目標値	24	24	24	24
						実績値	24	24	22	
	単位	回	全体目標値	24	全体目標達成度	100.0%	100.0%	92.0%		
	相談及び家庭訪問					年度目標値	4,000	4,000	4,000	4,000
実績値						3,253	4,146	4,767		
単位	件	全体目標値	4,000	全体目標達成度	81.0%	104.0%	119.2%			
成果指標	精神障害者社会復帰指導事業延べ参加者数					年度目標値	400	400	400	400
						実績値	276	256	196	
	単位	人	全体目標値	400	全体目標達成度	69.0%	64.0%	49.0%		
	受診援助件数					年度目標値	50	50	50	50
実績値						24	31	47		
単位	件	全体目標値	50	全体目標達成度	48.0%	62.0%	94.0%			

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか	○	急いで取り組む		中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	○ 達成していない(70%未満)
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 事業の方向性

方向性	A 計画どおり事業を進めることが妥当	B 1 事業の充実に向けた見直し	担当課評価 (所属長記載)  <b>A</b>
	B 見直しのうえで継続	B 2 コスト削減・成果上昇	
	C 終了	B 3 類似事業との統合	
	D 休止	B 4 外部委託導入・拡大	
	E 廃止	B 5 受益者負担の適正化	
		B 6 終期設定	
		B 7 その他効率化	

担当課評価の根拠	精神障害者の医療及び保護並びに保健及び福祉に関する施策を総合的に実施することによって精神障害者が社会復帰をし、自立と社会経済活動への参加をすることが出来るように努力をするとともに、精神障害者の発生の予防その他精神保健の向上のための施策を講じなければならないため。
「見直し」 「改善」案  ※上記、担当課評価が「B」評価の場合のみ	